

【山崎主宰の俳句】

くさきはな

山崎 聰

忘年のまわりて重き業車

ぼろ市の時計が鳴つてつと加齢

シリウスオリオン蒼惶と湯屋を出て

冬日燦らくだは懸命に駱駝

ひそひそと眠れば異国冬薔薇

五百羅漢の一体さびし初明り

初暦とりむしけものくさはな

一月のめでたきものとして目鼻

還暦に二十を加え雪迎え

アムールのそのさき凍土銃と靴